

ガンマナイフ

1. 前日 患者準備・物品準備

- ・パスの準備 ・点滴ラインの確保 ・食事変更の入力（朝は食止め、アンギオは昼おにぎり食・一口大） ・内服薬処方の確認 ・同意書の確認
 - ・アンギオγの場合は、当日の内服の確認、鼠径部の除毛、足背動脈のマーキング
寝衣・T字帯の準備、青バックの準備をする（angio参照）
- ※ 夜勤NSは、車椅子を病室前に用意する。
（アンギオγの場合は、頭部挙上可能タイプのストレッチャーも用意）

2. 当日 患者準備・物品準備

治療前 車椅子は点滴棒が取り外し可能なものを準備!!

1) アンギオγの場合

- 朝食は禁止。内服がある場合は、6時に少量の水で飲む。（内服の有無・時間はDr.に確認）
着替えをして、尿カテを留置する。（男性の場合、ウエスタンシースかコンビーンでも可）バイタルを測定し、パスへ記入する。
夜勤Nsが点滴をつなぐ。車椅子で指定の時間（火8:30着 金9:30着）までに検査室へ移動させ、フレームを固定する。
ストレッチャーと青バックを持っていき、10時前にアンギオ室に申し送りをする。
アンギオ終了後、迎えに行き申し送りを聞き、病室へ移動する。
* 基本的にはベッドに戻って休んでもらうが、γナイフまでの待ち時間によっては、ベッドへ移動させず、ストレッチャーに乗ったまま、待つて頂く。
γナイフのコールが来たら、点滴をへパロックし、ストレッチャーで検査室へ移動する。
終了後、迎えに行き病室へ移動する。

2) MRIγの場合

- 朝食は禁止。内服がある場合は、6時に少量の水で飲む。（内服の有無・時間はDr.に確認）
夜勤Nsが点滴をつなぐ。車椅子で指定の時間（上記時間）までに患者様を検査室へ移動させ、フレーム固定を行う。
その後、MRIへ移動。終了後、Dr.よりコールがあるため、MRI室へ迎えに行く。
γナイフのコールが来たら、点滴をへパロックし、車椅子で検査室へ移動する。
終了後、迎えに行き病室へ移動する。

治療後

- 治療直後、メドロールとフェノバルを内服する。
昼食後、夕食後にパンスポリン、ノイエル、定時薬を内服する。
アンギオγの場合、アンギオ後と同様に安静度の保持に努める。
γナイフ当日の日勤Nsはベッドサイドに以下の物を準備する。Dr.がフレーム固定部を消毒する。
イソジン2本、リバテープ2枚、ビニール袋、手袋

3. 翌日

朝食後に、パンスポリン、ノイエル、フェノバルを内服する。